

兵庫県伝統文化研修館について

兵庫県では、平成 28 年 11 月、日本の伝統文化の継承・普及・発展に寄与する事業を展開する施設として、「兵庫県伝統文化研修館」を開設。

兵庫県伝統文化研修館では、①青少年の文化力アップ、②国際交流と異文化理解、③文化発信と人材育成の推進を図るため、幅広い事業を展開し、一般、特に青少年に「和の心・静の心」への気付きを提供し、日本人としてのアイデンティティに繋げるものである。



★講師プロフィール



演劇評論家 渡辺 保

1936 年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業後、東宝入社。1965 年『歌舞伎に女優を』で評論デビュー。企画室長を経て退社。多数大学にて教鞭をとる。2000 年 11 月紫綬褒章受賞、2009 年 11 月旭日小綬章受賞。『女形の運命』で芸術選奨新人賞、『俳優の運命』で河竹賞、『忠臣蔵 もう一つの歴史感覚』で平林たいこ賞と河竹賞、『娘道成寺』で読売文学賞、『四代目市川団十郎』で芸術選奨文部大臣賞、『昭和の名人 豊竹山城少掾』で吉田秀和賞受賞、『黙阿弥の明治維新』で読売文学賞を受賞。その他、多数の著書あり。



長唄三味線奏者 杵屋勝寿治

関西長唄協会関西支部長、杵勝会参与、2017 年重要無形文化財長唄保持者として認定される。長唄界の重鎮として、歌舞伎や舞踊会の演奏とともに各地で後進の指導にあたる。海外公演も多数あり、米、英、仏、伊、カナダなどにて演奏。



邦楽演奏家 藤舎清鷹

東京芸術大学邦楽科卒、父は藤舎呂鏡 祖父は望月喜之助。6 歳で五世藤舎流家元 藤舎せい子、在学中に六世藤舎呂船に師事、海外ではオーストラリア、フランス、スイス、ベルギー、2014 年シンガポールの市川海老蔵丈公演「連獅子」の立鼓、2016 年ドバイ、フジヤイラ、ニューヨークカーネギーホールで「鏡獅子」の立鼓を勤める。その他中村富十郎、坂東玉三郎、市川猿之助、中村勘三郎等の歌舞伎公演や舞踊会等、全国各地で演奏活動を行う。京都造形芸術大学非常勤講師。社団法人長唄協会会員。

<伝統文化セミナーや留学生支援、座禅など、幅広く事業を行っています>

【花笠かぶき人間塾】

- 花笠 17、ラスト平成は小学生が中心。

着物は自分で着付けられます。礼儀や踊りもどんどんステップアップしています。

- オーストラリア、タイなどの高校生が日本の伝統文化・和楽器などを体験。とても好評でした。



【花笠かぶき人間塾】

- 「開設 1 周年記念事業」において、中高大生を中心に創作舞踊「仲間」を披露しました。

- 「生活に即した伝統文化の学び」お正月らしく百人一首に挑戦しました。

- 「生活に即した伝統文化の学び」座禅体験の様子、一般の方々も熱心に取り組まれました。



兵庫県伝統文化研修館
〒670-0832 姫路市双葉町 122

